

1. 猛暑対策、熱中症対策について

(2) 教育現場における暑さ対策について

- ①市長及び市教育委員会は、教育現場に出向き、授業風景の参観、室温調査、暑さ指数計測、児童生徒・保護者への聴き取り調査などを行ったか
- ②今後の調査などの計画について
- ③上層階ほど温度が高い傾向、西日でカーテンを閉め切らないといけない状況、暑さ等によるトイレ周辺の異臭などの問題について、把握をしているか。また、対策について聞く
- ④水を自由に飲めるよう、リース式のウォータークーラーなどの水分補給対策の検討について

【答弁】

それでは、「1. 猛暑対策、熱中症対策について」の(2)の①から④につきまして、順次、お答えいたします。

はじめに①②につきまして、熱中症が問題となった今年の夏の期間におきまして、各学校園に対しては、熱中症による事故防止と安全対策の徹底などの依頼を行い、注意喚起に努めてまいりました。

また、熱中症と疑われる症状が見られた子どもたちの人数調査は実施しましたが、学校現場へ出向き、室温等の調査、並びに、児童・生徒、保護者に対しての聴き取り調査などはできておりません。

しかしながら、今年の猛暑を受け、教育委員会としても、熱中症予防を目的とした学校園現場の状況を把握する必要があると考えますので、各学校園とも連携を図りながら、子どもたちの様子、室内温度の報告依頼など、訪問調査も含め、実情の把握に努めてまいりたいと考えております。

次に、③につきまして、学校によっては、校舎の配置等、様々な条件はござい

ますが、1階よりも3階の方が室温も高くなる傾向があるため、中学校普通教室のエアコン設置の際にも、3階以上の教室には、能力の高いエアコンを導入したところではあります。

また、トイレの異臭につきましては、学校からの連絡や営繕ヒアリングの中で状況を把握しております。

その主な要因としては、換気扇の故障や排水トラップの障害によるものなどがあり、特に夏場には、雑菌の繁殖が活発になることから、臭いがきつくなることも認識しているところではあります。

臭いの防止対策としましては、これまでも換気扇等の簡易な修繕で対応できるものは、順次、改修を行い、また、年次計画で進めておりますトイレの洋式化工事の際には、衛生面を考慮し、乾式化による改修も実施しているところではあります。

教育委員会としましては、トイレの洋式化や臭いの問題等も含め、学校のトイレ対策について、学校現場の状況も確認しながら、今後も快適な環境整備に努めてまいりたいと考えております。

次に、④について、お答え申し上げます。

本市では、熱中症対策として、こまめな水分補給ができるよう、ご家庭から水筒を持参していただいておりますが、子どもによっては水筒だけでは足らなくなるといった状況も聞いていますところではあります。

教育委員会としましては、ご提案のリース式ウォータークーラーの設置にかかる費用、その効果や導入事例等について、調査・研究を行うとともに、これまでの熱中症予防の取り組みを進めてまいります。